

# 安心安全を届ける「まちのパン屋さん」 ベーカリーカフェむぎの花

障がい者就労支援施設としてオープンしたベーカリーカフェむぎの花。自分の夢を実現しようと、10人の利用者が生き生きと働いています。誕生から18年目を迎えたベーカリーを訪れました。



NPO法人むぎの花 代表

佐野節子さん

大学1年生の時からボランティア活動を開始。夢に向かって努力する利用者の皆さんの姿に、やりがいを感じるといいます

おすすめ  
商品を紹介!



モーニングセット 500円

野菜をじっくりと煮込んで甘みと旨味を引き出したポタージュは、素材本来の味が楽しめます。2月はニンジンのポタージュを提供予定です



むぎ花ファームには、新鮮野菜のほか漬物やピクルスといった加工食品や、さき織などの手芸品が並んでいます



さといもパン 180円

さといもを煮かきしの上にチーズがのっています。和洋折衷の組み合わせが、若者に人気です

明太もちピザ 200円

表面をカリッと焼いた明太もちピザは、ピリ辛の明太子とジャキジャキの水菜がアクセントになっています



スローガンは、「お客さまに喜ばれるものづくり」。ベーカリーカフェむぎの花では10人、むぎ花ファームでは14人の利用者が働いています

## 地域と共に生きるために NPO法人むぎの花を設立

豊明市立唐竹小学校から北へ歩いて3分ほど、県道237号沿いに、緑の屋根が目立つベーカリーがあります。入口前にあるメニュー黒板を横目に「今日はどの商品を買おう」と扉を開ければ、香ばしい小麦の香りが鼻をくすぐります。店内左側はカフェスペース。右側には焼き立てのパンがコの字型にずらりと並んでいます。

「どんな障がいがある子も、地域の人と同じ場であたりまえに暮らしてほしい」。2005年に誕生したNPO法人むぎの花は、未来を見据えた障がい児の親の願いから生まれました。パンを製造・販売するベーカリーカフェむぎの花の運営を通し、障がい者の就労を支援しています。

「ヤマト福祉財団に相談した際、必要な設備をそろえるには3千万円必要だといわれたんです。資金調達に悩んでいたところ、パン屋を廃業する人に知り合い、趣旨を説明しま

した。活動に理解を示していただき、設備や場所、技術の提供を受けることができました」

当時を振り返るのは、NPO法人立ち上げ以前からボランティアとして携わってきた佐野節子さん。ベーカリーカフェむぎの花のオープンには、市民の協力が欠かせなかったといいます。「パン屋さんの知人から倉庫を譲り受け、売る場所を設けました。倉庫を移動させる時も知人の力を借り、クレーン車で運んでもらったんですよ。『障がい者が働いて生きていくために、パン屋をつくりたい』。私たちの考えに賛同してくれる人との出会いがなければ、成し得ませんでした」

## 添加物不使用を徹底 心を込めた手づくりの味

2012年には現在の場所へ移転し、カフェを併設。新たなスタートを切ります。変わらず大切にしたいのは、安心して味わえるパンを届けること。添加物不使用の背景には、安全へのこだわりがありました。「障がい児

を育てるお母さんに話を聞くと、「あの食べ物を口にしたからかしら」と不安にかられてしまったというのです。だからこそ、これから子育てをする女性には、安心して食べられるものを提供したい。長時間発酵させるなど、手間を惜しまずパンづくりに向き合っています」

さらに、季節の野菜や果物を用いるというこだわりも。会議を毎月開いて案を練り、定期的に商品を入れ替えています。トッピングする具材は、もちろん手づくり。2月には、旬のほうれん草や水菜を具材にしたもののほか、バレンタイン商品として、チョコプレートを使ったパンが登場する予定です。

アレルギーの人向けには、卵・牛乳・バター不使用のパンを販売。離乳食代わりにもなるため、幼い子どもがいる家庭に喜ばれています。

安心・安全で、おいしいものを食べさせたい。ベーカリーカフェむぎの花は、子どもの健やかな成長を願う保護者から人気を集めています。

## 2つの事業所の運営で 相乗効果を狙う

2016年には敷地内に、むぎ花ファームを開店。野菜づくりを始めました。ファームには、市の農地バンク制度を活用。利用者は店舗裏200平方メートルの田を耕して、減農薬栽培に挑戦しています。育てた野菜は、ベーカリーで販売するパンの具材として用いるほか、近隣の生産者約20軒から仕入れた農産物と共に、むぎ花ファームで販売しています。

「生産者の中には値段の付け方を教えてくれたり、『参考になりそうな記事が載っていたよ』と新聞の切り抜きを持ってきてくれたりする人も。障がいへの理解が進んでいる証拠だと、うれしく思います」と笑みを見せます。

また、むぎ花ファームではさき織の実演販売を実施。パン製造や農業、工芸品づくりなど、利用者はそれぞれの特技を生かして業務に携わっています。

NPO法人を立ち上げて10年以上が経った今、目指すは豊明市民に愛される「まちのパン屋さん」です。「利用者の皆さんは、お客さまが喜ぶ良いものづくりに、誇りを持って仕事をしています」と佐野さん。ベーカリーカフェむぎの花は今日も焼き立てのパンを用意して、あなたの訪れを待っています。



### information

NPO法人むぎの花 豊明市間米町純堀1821  
TEL 0562-92-8822 <http://mugino-hana.com/>

- ベーカリーカフェむぎの花 営/9:00~18:00 休/日・月曜日
- むぎ花ファーム 営/10:00~15:00 休/日・月曜日